

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施設名	豊明市西部児童館
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日
所管課	子育て支援課

区分	項目	令和6年度 前半期(4~9月期)				令和6年度 後半期(10~3月期)			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
【施設全般の管理運営に関する業務】									
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		A		A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		A		A	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		A		A	
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		S	日誌とヒヤリハット記録をセットにする改善を行った。	A		A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		A		A	
【利用者に関する業務】									
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		B	前年度比減少率18.8%(全館平均▲9%)	A		B	前年度比減少率26.3%(全館平均▲17.3%)
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か								
【保守点検並びに清掃業務等】									
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	9/9 消防設備点検	A		A	10/26、3/1 遊具点検 3/17 消防設備点検	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	5/7 エアコンクリーニング 6/5 剪定作業 9/3 草刈り・除草剤散布作業 9/14 カーペット洗浄	A		A		A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		A		A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		A		A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	5/10遊戯室雨漏り修繕 5/10女子プース扉修繕	A		A	12/13 遊戯室窓ガラス修理	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A		A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		A	
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
【事業の実施に関する業務】									
	指定事業は適切に実施されたか	A		S	ひまわりとの合同親子教室を開催	A		A	
	自主事業は適切に実施されたか	A	7/19 夏祭りスタンプラリー(第一弾映画鑑賞会)	S	映画鑑賞会の作品を子どもによる投票で決めた。	A	11/26 新規事業「タッチケア」実施	S	ひまわりと合同事業を実施した。
【個人情報の取り扱い】									
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	日々開所時間を遵守し、適切な人員配置に努めた。自主事業の「夏休みスタンプラリー」では、児童の投票で決めた映画の鑑賞会を開催し、82名(内一般47名)の児童の参加があり、興味関心の高さが伺えた。引き続きイベント等を開催して児童館の広報活動に繋げたい。 建物に関しては老朽化が進む中、日々の清掃業務や保守点検を行い、修繕箇所が生じた場合は速やかに対応し、安全面に細心の注意を払いながら運営を行っている。				・開所時間、適切な人員配置を引き続き厳守できた。 ・自主事業では、ひまわり児童館と合同に親子教室を開催し、親子の触れ合いを通して、親子の絆を育み、丈夫な身体づくりをねらいとした「タッチケア」を実施、好評をいただき、別日に自館でも開催して、こちらも参加者から良い評価をいただいた。 ・課題点としては、施設の老朽化に伴い、空調設備の不良や修繕を要する箇所がいくつかあり、そのため利用者に過ごしやすい環境を提供することが難しい状況であった。			
	【①に係る施設所管課の評価】	・館運営において安全管理は最も重要な課題の一つであり、業務日誌とヒヤリハット記録を統合する取組によって、スタッフの意識が向上し事故の未然防止に繋がった点は評価できる。 ・映画上映会では、上映作品を子どもの投票で決定した。これは「子どもが主体となる児童館の運営」という点を体現していると評価できる。				複数の児童館が協力して合同で企画を運営する初めての試みを成功させることで、新たな学びの場づくりと地域連携の強化を目指したという点は評価できる。			
			区分評価	B			区分評価		B

区分	項目	令和6年度 前半期(4~9月期)				令和6年度 後半期(10~3月期)				
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	
【施設の運営状況に関する事項】										
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A		
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A		S	あそびのルールを子どもたちで決めている。	A	2~3月に実施済み	S	アンケート結果より丁寧な声掛けをしていることがわかる。	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A		A		A		
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		A		A		
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A		
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A		A		A		
② サービスの質の評価	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A		A		
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】									
	各職員がテーマをもって改善活動を実施しているか	A		A		A		A		
	乳幼児・児童ひとりひとりの年齢や発達状況に柔軟に対応しているか	A		A		A	毎月親子教室を実施	A		
	掲示物・展示物に創意工夫がなされているか	A		A		A		A		
	保育の質を高めるためのミーティングが設定されているか	A		A		A		A		
	【②に係る指定管理者の自己評価】	昨年末に実施したアンケートの意見要望を取り入れて幼児工作で手形イベントを行ったり、幼児さんのコーナーの掲示物を工夫したりした。また、親子教室に更生保護女性会の方を招き、苗の植え方等を指導していただき地域の方との交流も深めることができた。 7月より親子教室の参加は一組になったが、近隣の児童館と合同で教室を実施することで地域を超えた交流を行うことができた。 児童館内での日々の様子が分かるように夏休み以降「フォトページ」を毎週更新し、玄関近くに設置。利用者の方々から好評をいただいている。 引き続き利用者のニーズを取り入れながら、安心安全な地域の子どもの居場所づくりに努めていきたい。				・今年度、親子教室の参加者は幼稚園入園に伴い年度途中でゼロとなってしまったが、活動の幅を広げる為に、期内にひまわり児童館・南部児童館と合同で実施し、他の児童館の親子やスタッフとの交流は参加者から好評であった。 ・アンケートには、親子利用者の日々の感謝の思いが多く書かれており、職員の励みとなった。また小学生からは率直な意見を伺うことができた。今後は幼児親子の利用が増えるよう、また中高生の利用が増えるよう、利用者の年齢に合わせた環境整備やイベント実施の工夫等が必要と感じる。				
	【②に係る施設所管課の評価】	子ども自身が遊びのルールを考え決めることは、自主性や協調性を育む大切な機会であり、自分の意見を伝えたり相手の考えを受け入れたりする経験を通して、社会性や問題解決力も養うことができる。また、自分たちで決めたルールだからこそ守ろうとする意識が高まり、安心して遊べる環境づくりにもつながると評価できる。				区分評価	A	利用者アンケートの結果より、職員が利用者に対してしっかりと声掛けを行い、コミュニケーションを重視している姿勢が評価されており、これにより、利用者との信頼関係構築や安心感の提供が促進されていると考えられる。		
③ サービス提供の安定性の確認	事業収支は黒字になっているか	B		B	上半期は赤字収支である。	B		B	下半期は赤字収支である。	
	必要な帳簿は備えられているか	A		A		A		A		
	経理処理は適正に行われているか	A		A		A		A		
	収入増加のための取組がなされているか									
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A		
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A		
	【③に係る指定管理者の自己評価】	人件費等が収支に影響を及ぼしているものの、おおむね安定的に運営している				評価Bとした理由： 安定的な運営を行うため、人員の配置を充実させたことによる人件費の負担増。 加えて、今年度は全社あげて待遇改善に取り組み、今期は12月に賞与に加え全職員に待遇改善一時金を支給。それにより施設単体の事業収支は赤字となっているが、施設自体の運営ならびに企業全体としての事業収支は安定している。				
	【③に係る施設所管課の評価】	・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。				区分評価	B	・館自体の事業収支は赤字であるものの、施設自体の運営及び企業全体としての事業収支は安定している。		

【項目評価】

S（優 良）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

A（良 好）：協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

B（課題あり）：協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）：協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

S（優 良）：項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

A（良 好）：項目評価が全てA以上。

B（課題あり）：項目評価にBがある。

C（要改善）：項目評価にCがある。